



近年、育児での抱っこやおんぶにはさまざまな良い影響があるのではと改めて注目を集めている。スリングなどを使った「ベビーウェアリング」のこと、さらに主婦やママの起業について園田正世さんに伺ってみました。

北極しろくま堂
代表取締役
園田正世さん

親子の絆を 包んで育む

運命的なスリングとの出会い

園田さんが初めてスリングを手にしたのは、1999年11月3日。東京で開催された「いいお産の日」のイベント会場だった。間もなく生まれてくる第2子のお産をより良いものにしよと、考え、1歳の長女を連れて参加した。さまざまな育児グッズを販売するブースの中で園田さんの目に留まったのがアメリカ製の抱っこ紐「スリング」だった。

「装着してみると、両手を離しても赤ちゃんを抱くことができ、同時に長女の相手もできる。私も楽ですし、抱かれている子どもも安心して見ように見えました。これはもう魔法の道具だと」

早速購入し、翌年3月に出産した第2子の育児に役立てた。腕や腰などが痛くなりにくく、第1子の育児中に感じていた抱っこに対しての辛さが嘘のように消え、育児そのものへの不安も軽減。成長に合わせて抱き方を変えることもできる。そしていつしか、『この素晴らしいをいろいろの人に伝えたい』と思うようになった。

つながっている、
ひろがってゆく、交流。

隣にいる人と手をつないでみると
その手のぬくもりが
心に優しく伝わるように

「でんき」を通して
くらしや人、街をつなげていきたい。

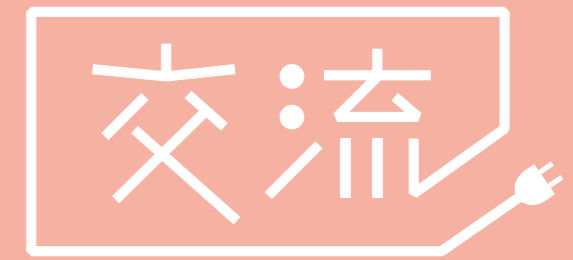
私たちはいつも
こうなったらいいな
こうできたら素敵だな
という想いを描いています。

その想いがやがて現実のものになるように
「でんき」が
過去から、いまへ、つながり
そして、未来へと、ひろがっていきますように…



CONTENTS

- 02 交流 INTERVIEW SPOT LIGHT
北極しろくま堂 代表取締役
園田正世さん
親子の絆を包んで育む
- 06 御菓子の歳時記 [春]
- 07 甲斐みのり 中部伝統通信
伊賀組紐 (三重県伊賀市)
- 10 クリス・グレンの産業 Impression!
ピアノ製造 (静岡県磐田市)
- 13 ワタナベマキ 今日のごちそうさま
旅で見つけた“美味しい!”を今日のごちそうさまに。
- 15 エネがお
長野支社 飯山営業所
- 17 でんペディア
明知川発電所
- 19 交流便
- 20 カンナこと、こんなこと。
氷山の90%は洗んでいる
- 21 Chuden Press



2019 SPRING No. 111

「交流」発行にあたって

中部電力がお届けする「交流」は「でんき」のつながり・ひろがりのように地域の人や文化といった魅力をさまざまに伝えます。もちろん、エネルギーに関するくらしに役立つ情報も。中部地域を元気にするエッセンスをお届けしたいと思います。

**ボランティア活動の
ような始まり**

静岡市内の菓子店に生まれ、子どもの頃から商売に慣れ親しんできた園田さん。さらに思い立ったらじつとしていられない性格も相まって、2000年には「北極しろくま堂」を設立。アメリカからスリングを個人輸入し販売していたが、自身は育児で困っているお母さんを助けたいとの気持ちだけで活動していた。しかし、当時は2人の子どもの育児真っ最中。お金も時間もままならない滑り出した。

「友人のデザイナーにチラシを作ってもらい、助産師さんにお渡ししましたが、なかなか手応えがありません。そこで、じっくりと見てもらえるように、ホームページを作ることになった。」

ホームページ作成の時間を捻出するため、朝4時に起きる日々が続いた。公開後は毎日1本は売れるようになった。とはいえ利益は微々たるもの。この頃は、ご家族も園田さんの活動をボランティアの一環だと感じていたそう。

数々の失敗を乗り越えて

日本製スリングの企画・製造・販売のきっかけとなったのは、輸入していたアメリカ製品のサイズや色柄、デザイン、機能などが日本人の体格や好み、日本の気候に合っていないという声からだった。そこで、これまで取引をしていたアメリカの企業とライセンス生産契約を結び、日本の生産をスタートさせた。しかし、互いが契約に対して知識がなかったため、園田さん側が高い授業料を払うことになってしまった。

「企業や工場相手の契約、金銭の授受など、分からないことばかりで失敗は数知れません。納品書と請求書が複写になっていることも知らず、同じ金額を2回振り込んだことも」

しかし彼女は諦めたり投げ出したりはしなかった。なぜなら、抱っこやおんぶが育児にとって重要であることを自分自身が強く感じていたからだ。初めてアメリカ製スリングを手にしてから4年。ついに「北極しろくま堂」オリジナルスリング「キュットミー」の販売が始まった。



園田正世 MASAYO SONODA

静岡市生まれ。名古屋市で中学・高校生活を送り、自動車メーカーに就職。その後退職し静岡大学へ。卒業後は、コンサルタント会社勤務を経て結婚し専業主婦に。2000年「北極しろくま堂」創業。取締役として活躍する一方で、東京大学大学院博士課程での研究や「NPO法人だっこおんぶの研究所」理事長として活動的な日々を送っている。

キュットミー！

ユーザーのニーズを反映させるため、2003年から自社で企画・製造・販売を始めた「北極しろくま堂」オリジナルのスリング。ベビー用スリングとして初のグッドデザイン賞・キッズデザイン賞を受賞した。



「キュットミー」は肩パットの他に、赤ちゃんの首を支える中綿入り。中綿につく紐（ひも）の通し口を変えることで位置変更が可能で取り外しもできる。このアイデアが特許を取得した。

**抱っこやおんぶを
研究するため大学院へ**

「ご来店くださったお客さまが『キュットミー！』を装着した瞬間に、顔が緩むのを見るときは、いつも感動します。子どもが成長してから振り返れば、抱っこの時期は2年から3年ほどと短いのですが、真っ只中のお母さんにとっては、永遠にも思えるほど長く感じ大変です。それを少しでも軽減できれば」

「キュットミー！」を使ったお客さまから、お礼の言葉や「我が子を愛しいと思えるようになった」などの嬉しい声をもらいながら「北極しろくま堂」を続ける中で、園田さんにはどうしても知りたいことがあった。それは、抱っこやおんぶが赤ちゃんに与える影響についてだ。2010年、「NPO法人だっこおんぶの研究所」を立ち上げ、助産師や保育士とともに、講座やセミナーなどを開催していたが、そのベースとなる「なぜ良いのか？」を研究している人がいないことを知り、それならばと、東京大学大学院の門を叩いた。



出産後2～3年間は、母子が連れ立って行動する白くまは、他の哺乳類と比べてもその絆が強いと言われている。仲睦まじくほのぼのとした白くま親子の姿が人間の子育てに通じるものがあると思ひ、社名やイメージキャラクターに使用した。「北極は苗字みたいなものです」(笑)



北極しろくま堂
ベビー用スリングのほか、昔ながらのおんぶ紐や兵児帯などを製造・販売。同社の商品は、インターネットをメインに、全国の百貨店や産院などでも購入できる。静岡市のカスタマーセンターは全国への発送拠点であり、ここでスリングなど全ての商品が試着できる。

静岡県静岡市葵区宮ヶ崎町 91
TEL / 054-653-4700 <https://www.babywearing.jp/>

**「初めてスリングを使ったとき
魔法のようだと思いました」**



昔ながらの子育てを 現代社会に広めたい

「まだまだ研究半ばなので、断言はできませんが、抱っこやおんぶをすることは、言葉を持たない赤ちゃんに愛情を伝える手段だと思えます。そうすることで親子の絆が生まれ、育ち、のちの人間関係の基礎になるのではないのでしょうか。また一部の歯科医は、小学生の口腔内の状態が悪くて、さまざまな弊害が出る原因は、乳児期の姿勢にあるという説を提唱しています」

スリングやおんぶ紐の力を借り、親御さんも赤ちゃんも楽な姿勢で、互いの絆を育み深めること。さらには、お父さんが抱っこをして外へ出かけた時、お母さんがおんぶをしながらか家事や仕事をする、その世界を肩越しから、あるいは胸元の安全な袋の中からのぞくことで、赤ちゃんが自然に危険を察知し、スムーズに他者とコミュニケーションする方法を覚えていく。園田さんが世の中に広めたいのは、そんな昔ながらの子育ての基本ではないだろうか。

「これ以上会社を大きくしようという気持ちはなく、必要な人の元へ必要な育児道具が届けばいいと思います。たとえそれが我が社の製品でなくてもいいんです。『NPO法人だっことおんぶの研究所』の活動目的はまさにそれ。全国の助産師さんや子育ての支援者がコンシェルジュとなって、親御さんたちに抱っこやおんぶの大切さを広めています」

「起業しても軌道に乗るとは限りませんが、10年後に残れるのはわずかなパーセント。ポイントは、小さく始めることではないでしょうか。私の開業資金は7万円でした。つまり、失敗しても後悔しない起業。それが主婦やママ起業の鉄則です。メリットでもあると思います。そして何より、自分が心から好きと思えるコトやモノを選ぶこと。私の場合、スリングと出会った時の感動を多くの人に届けたいという想いで、今も続けています」

SWITCH of My Life

水泳部監督の 理論的な教えを 人生の行動の手に



中学・高校と女子校の水泳部に所属していた園田さん。そこで出会った山岸監督は、部員達に根性だけの練習を押しつけるのではなく、なぜ今、この練習が必要なのかを理論的に教えてくれた。「納得して練習できたから苦しくなかったです。それ以来、私も見習わせていただいています。私の人生にとって、とても意味のある出会いでしたね」

「起業したいなら

心から好きなコトやモノを選ぶこと」

